

さんわ四季報 夏号

おかげさまで

10年に創刊した季刊誌「さんわ四季報」がおかげ様で50号を発行するまでに大変お世話になりましたお客様には大変お世話になり、今日まで継続することができました。申し上げます。季刊誌を通して、三和住建をより深く理解して頂けたらというお気持ちと三和住建の建物造りを支える“サンワ会”のご紹介をさせていただきます。

『おかげさまで認定低炭素住宅（39戸）サンキューフェア』のご報告

四季報で募集させて頂いた弊社イベントへたくさんのご応募を頂きましたこととお礼申し上げます。抽選の結果ご当選されたご家族のお宅へチケットをお届けに伺いました。

様より頂いたお手紙

より遅く、テニスコートチケットが、
れしく、舞い上がりました。最近
旅行で、どこかへ遊びに行くと、言っても
ない、行くと、うらやま、うらやま、
い、家族、子供、は、テニス、
、遊び、と、思います。
テニス、には、行、た、と、い、う、こ、の、夢、
あげ、た、と、い、い、ます、う、ら、や、ま、も、
、です、。、さ、う、な、機、会、を、頂、い、
ました。

😊😊 家一同 😊

I様宅では可愛らしいお嬢様達が迎えて下さり、リビングにおしゃれに飾られたお嬢様作のこいのぼりを拝見しご家族の記念写真を撮らせて頂きました。



I様ご家族

Y様宅ではご主人様より心のこもったお手紙を頂きました。今回趣旨にご賛同下さりご応募頂きながら、惜しくもご当選されなかった皆様には、ご期待に沿えず恐縮に存じます。お客様からお寄せ頂いたご意見を、これから弊社のアフターサービス向上に生かして参ります。

とり言 ぶつぶつ...

四季報も皆様のご協力で50号になりました。平成12年春号が創刊号で、その時にはトドはありませんでした。トドのひとり言とは、標準体重を10kg以上オーバーして「トドのひとり言」がぶつぶつ言えるコーナーになっています。現在も標準体重は10kgオーバーして、トドのひとり言者側から見た世の中についてぶつぶつ言っていて、ソフトとハードを含めたバリアフリーの事まで読んでみますと非常に多かったです。歪んだ性格は未だに直らなくて健在なのかな、と思います。今回は孫の運動会の事（何年ぶりかに運動会に行ってきました。）今の運動会は、昔の運動会と比べると、するプログラムは皆無で、皆団体競技ばかりで、目に付くのは母親達がファッションで、お揃いの衣装を着ていました。昔みたいに足の速い子供が運動会で自分を誇れた時代とはずいぶん変わりました。昔もハラハラすることがなく平和(?)でした。

ひとり言を47号全部読んでみましたが、18号に弊社が得意とするバリアフリーの事が書かれていた。もう一度紙面に載せさせていただきます。

毎週放送の記者より、当社のバリアフリーモデルハウス取材したい旨の電話がありました。

お施主様訪問記 おかげさまで50号

電車で取材に向かった私たちは、藤沢駅から江ノ電に乗り、まるで小旅行の様な気分を味わせて頂きました。

石井様が建築地を鎌倉に選ばれたのは、お嬢様の学校が鎌倉にある事と鎌倉と言う響き・独特なゆったりとした時間の流れ、自然が残る風土に魅力を感じ、弊社の社長に相談したところ現在の土地を紹介され、車好きのご主人様は真下の国道を走る車を眺められるので、こちらに決めたそうです。

駅から2~3分歩くと、外観は白で統一されたシンプルでスタイリッシュなご自宅に到着しました。

これは真っ白な家を建てたいというご主人様のご希望で、あまり近隣にはない色でとても生きていました。

鎌倉市は景観を大切にする土地柄で建築物の規制が厳しいそうで、弊社の設計士は何度も鎌倉市役所に行きお客様のイメージと景観を大事にしながら建てさせて頂きました。

玄関を入るとたっぷりと収納できるシューズクロークがあります。

正面にはエコカラットが貼られた飾り壁があり

ゆくゆくはお花がご趣味の奥様の作品を飾られるそうです。

この壁には秘密が隠されていて、将来エレベーターを付けるための柱が入り二階の納戸と繋がっています。

リビングにはソファにあわせて付けられた大きな窓枠の無い窓があり、綺麗な水平線がまるで絵画のようで南国のホテルに来たような感じです。

奥様お気に入りのオーダーキッチンには白と黒のシンプルな色使いで、食洗器の横にはまな板や布巾の乾燥機も付き引出しも使う人の希望に合わせて段数を決められます。また、海を見ながらお料理が出来る誰もが憧れる夢のようなキッチンです。

一階にはご主人様ご自慢のガレージもあり、リビングやミニカーがたくさん飾られたコレクションルームからも愛車を眺められる造りになっています。

ガレージの壁はカルバリウム合板が貼られ、床にはアクセントにタイルを使う等とてもこだわられています。

二階に上がると広々とした踊り場にはワンちゃんのゲージが二つ並び、正面にあるキャットウォークには今後ソファを置く予定で、ここから海を眺めているとゆったりと心地よく時間が経つのも忘れてしまうそうです。

キャットウォークの下は吹抜けになっていて、リビングに繋がっています。

奥様が「吹抜けのある家に住んでみて、人の気配が良く分かり声をかけるにも二階に上がる必要がないです」「真冬でも一階の床暖房と吹抜け部分の暖房を一時間付ければ、後は両方切っても家中暖かいです」とおっしゃっていました。SW工法の良さをご実感していただいて、喜んで下さっている事をととても嬉しく思いました。

二間あるお嬢様のお部屋は、緑色や水色のカラフルな扉に金のドアノブが付けられたオシャレな輸入ドアが付いていて、まるで海外ドラマのワンシーンのようです。

海を眺めながら入浴できるお風呂場には、奥様が本を読んだりできる様にリラクゼーションボードが設置され、脱衣所からベランダへ行く廊下の宮殿の様な気品ある素敵な壁紙は、奥様が選ばれたそうです。

ご主人様から「建築中台風が来たり、大工さんは朝早くから通うのが本当に大変だったと思います」「打合せもたくさんわがままを言い、その都度変更して頂きました」など弊社を気遣って頂き「家はイメージ通りで十分です」と最高のお言葉まで頂きました。本当にありがとうございます。

今回は、50回記念特別号として取材をお願いさせて頂き、快く引き受けて下さり深く感謝致しております。

これからも、お客様の家に対する思いを形にするお手伝いをさせて頂ける様努力してまいります。

末永くお付き合いの程、宜しく願い申し上げます。

今回は、四季報発行50回記念特別号として鎌倉市の石井様邸をご紹介します。



お施主 石井様

建築地 鎌倉市 建築年度 平成26年

石井様邸フォトコレクション



石井様邸 正面



最寄駅の風景



石井様邸 海側



オシャレな洗面台



吹抜けから見たリビング



海沿いから見た石井様邸



ウッドデッキからの眺め



主寝室



ベランダへつながる廊下



奥様お気に入りのキッチン



コレクションルーム



リビングからの景色

●サンワ会について●

サンワ会とは、お客様に高品質で安心できる住宅をご提供できるように、弊社の工事に携わっている協力会社が主体となり、建築工法の話し合いや、建築に関わる法律等の勉強会を開催する会になります。

(サンワ会：2014年5月現在72社加盟)

●今年に入って初めての勉強会を開催しました●

サンワ会では毎月会合を開き、年1回3月には総会を行なっております。今年は3月4日に、総会と共に勉強会を行いました。勉強会の講師として住宅業界を専門とする法律事務所である、弁護士法人匠総合法律事務所代表社員弁護士の秋野卓生先生をお招きし「より高い施工レベルを目指し、達成するために必要な法律知識」について講演をしていただきました。「2014年は、消費税増税や省エネ関連の動きなど、住宅業界全体に大きな変化が生まれることが予想され、考えられる様々なトラブルを避ける最大のポイントは、お客様と弊社の間で信頼関係を保ちながら、お互いにコミュニケーションをとりつつ、十分な意思疎通による安定した現場進行を行う事が不可欠になります。」とお話し頂きました。これからも、サンワ会の活動を続け、お客様に喜んで頂ける対応C I S（顧客感動満足）を心がけて参りたいと思います。

HOUSE OF THE YEAR IN ENERGY 2013



前回春号でもお伝え致しましたが、「ハウス・オブ・ザ・イヤーズ・イン・エナジー2013」において、弊社のジェントルハウスシリーズ(人と環境にやさしい家)が優秀賞を受賞しました。地域の一工務店である弊社が優秀賞を受賞させて頂くことができたのは、ひとえにお世話になりましたお客様のおかげと心より感謝しております。これからも協力会社と一丸となり、お客様により良い住宅をご提供できるように精進して参りますので、末永いお付き合いをよろしくお願い致します。

※「ハウス・オブ・ザ・イヤーズ・イン・エナジー」とは、(財)地域開発センター(主務官庁:国土交通省)が主催する省エネルギー住宅のトップランナーを選定する表彰制度で、建物外皮と設備を一体として省エネルギー性の評価を行い、更に、設計・施工における標準化やコスト対策といった普及に関連する項目について着目し、それらに基づいて省エネルギーに優れた住宅の表彰を行うものです。住宅の選定にあたっては、学識経験者などで構成される審査委員会が審査を行い、日本全国のハウスメーカー、工務店のなかから選ばれる名誉ある賞です。

編集後記

夏が待ち遠しい季節になり、今年も半年が過ぎようとしています。おかげ様で弊社の分譲住宅も残りわずかとなりました。小山さくらガーデン(完売間近)・相原こもれびの家(完売間近)・ジェントルハウス原町田(残り3区画)・ジェントルハウス野津田(残り2区画)お知り合いの方などご興味ございましたら、是非ご紹介いただくと幸いです。『手作りさんわ四季報』は発行50号を迎える事ができました。皆様のご協力とご支援のおかげと心より感謝申し上げます。これからも皆様のお役に立てる情報発信をして参りますので、今後ともご愛読の程、宜しくお願い致します。



上野 英雄 (株)LIXILトータル販売
■会長

■建築業界は、今、消費税増税後の変遷の時代に突入している感があります。この難関の時期にあたり、(株)三和住建のますますの発展の一助となれる様、会員共々勉強し行動して行きたいと考えております。



大木 誠 (有)相互電設
■副会長

■省エネルギー住宅の電気工事に携わる者として、これからも勉強を重ね、会長を支えつつサンワ会を引っ張っていきたく思っております。



芝田 茂雄 (株)アサヒ設備
■副会長

■今後、我々の関係している建設業界が大きく変化していくであろう環境の中で、サンワ会で何が出来るか何をすべきかを考えながら、微力ながら2年間サンワ会の発展の為に尽して行き、しっかりと会長を支え、サンワ会全体で助け合って行きたいと思っております。



大八木 一明 大八木工務店
■幹事

■木工事をやっておりますが、まず会社をしっかりと支えた上で幹事として様々な意見を提案させて頂きます。



久保口 一文 (有)久保口工業
■幹事

■お客様にご満足頂けるよう、精一杯頑張りたいと思っております。



小熊 篤史 (有)サガミ外装建工
■幹事

■職人のスキルアップを目指し、勉強会等で色々な提案をして、サンワ会全体のレベルアップをしていけるように一生懸命頑張ります。



田中 琢磨 (株)さつま
■幹事

■まだまだ若輩者ですが、サンワ会の一員として、一生懸命がんばります。



河本 文雄 (有)フットライト
■相談役(前年度会長)

■会長、副会長を支え、サンワ会の一員としてこれからも陰ながら応援させて頂きます。



人と環境にやさしい家づくり
株式会社 **三和住建**

<http://www.sanwajuken.com/>

東京都町田市忠生3丁目7番地15
本社：042-794-3030
展示場：042-793-4003